

## 令和2年度 第1回会津若松市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和2年5月29日(金)  
開会 午後1時15分 閉会 午後2時45分
- 2 場 所 教育委員会室(市役所栄町第二庁舎2階)
- 3 出席者 市長 室井照平  
教育長 寺木誠伸  
委員 林健幸  
委員 松本健男  
委員 秋月淳子  
委員 一ノ瀬美枝
- 4 事務局出席者 教育部長 山口城弘  
副部長兼教育総務課長 稲生豊彦  
生涯学習総合センター所長 堀金靖  
学校教育課長 山岸実  
学校教育課主幹 吉川加代子  
教育総務課副主幹 山内齊
- 5 協議題 (1) 教育関係施設の休業対応について  
(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した学校教育について  
(3) その他
- 6 議事の概要  
○開会  
○会津若松市長あいさつ  
○議事録署名人 秋月委員、一ノ瀬美枝委員を指名  
○協議内容
- <議長：室井市長> 一つ目の協議題は「教育関係施設の休業対応について」であります。緊急事態宣言が全国に拡大されてからは、学校以外の教育関係施設についても、休業等を余儀なくされたところですが、まずは施設の休業等の対応について事務局から説明をお願いします。
- <事務局> 「教育関係施設の休業対応について」説明
- <議長：室井市長> 只今事務局より説明がありました。  
これまでの各施設においては、休業等の対応により市民の皆様にはご不便をおかけすることとなってしまいましたが、その様な中でも創意工夫を凝らし、図書館では、ドライブスルー方式による貸出を実施するなど、利用者に寄り添ったサービスの提供を行ってきたところでございます。  
公共施設の休業等の対応に関してご意見ご感想などがございましたら、発言をお願いいたします。
- <議長：室井市長> 特にご意見がなければ次に進みます。なお、この後の協議のなかにおいて何かございましたら、ご発言をお願いいたします。

それでは二つ目の協議題といたしまして、「新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育について」を協議してまいります。

小中学校においても、休業の措置などの対応を行ってまいりましたが、緊急事態宣言の解除を受けて5月19日からは分散登校を開始し、6月1日からは全面的に学校を再開することとなります。まずは、これまでの取組みについて事務局から説明をお願いいたします。

〈事務局〉 「(2) これまでの取組状況及び予定」説明

〈議長：室井市長〉 事務局より説明がありました。

まず臨時休校や分散登校の実施等の対応について、ご意見ご感想があれば、ご発言をお願いいたします。

〈秋月委員〉 臨時休業となり家庭の状況で子どもの面倒を見れない場合の対応として、1年生から3年生までの低学年の児童などを特例措置として学校で居場所を確保してもらえたことは保護者としては大変助かったと思います。特に、新1年生の保護者にとっては、入学する学校で見てもらえた事が学校に慣れる意味でも有難かったと思います。現場の先生方は非常に大変だったかと思いますが、保護者としては心強かったです。

〈議長：室井市長〉 次の日から学校を休んでくださいと急に言われ、保護者や現場のみなさんは大変だったでしょうが居場所の確保についても十分に対応できたと思います。

〈林委員〉 休業中の過ごし方をどうするのか大変気になってはおりましたが、外出して遊んでいる子ども達が少なかったのは意外だったと感じました。市内でゲームセンターなど、たむろする場所が少ないといった事も講じたのかと思いました。そうした中で体を動かす事が少なくなっているの、運動施設なども早めに開放して欲しいと思います。

〈議長：室井市長〉 本市では、5月19日に屋外運動施設を早めに開けた経過があり、本市以外の利用者が見られたという事もありました。

〈松本委員〉 近所を見ていて子どもが少ないと感じました。家の中で静かにしていることなのかなと思った。特に小学校1年生や中学校1年生など環境が変わるこどもたちは、通常のかたちでは無かったので心配でした。保護者もこどもたちも経験したことが無かったので、今回の対応が正しかったのかも分からないままに不安を感じながらいました。これからどのような影響が出てくるのか注視しながら、対応していってもらえればと思います。

〈議長：室井市長〉 ただいま松本委員がおっしゃった件については、今後の課題として対応をしていただきたいと思います。

〈一ノ瀬委員〉 今回の臨時休業の対応は、速やかに実施ができたと思います。大きな問題も無くて済んだ。社会において、会社などでもオンラインミーティングなどが増えてきており、子ども達にもオンラインでの学習などができると立証されたのかなと思います。

〈議長：室井市長〉 GIGAスクールについては、4年で整備する予定のものを前倒しで整備することになったので、将来的にはオンライン学習ができることに繋がると思います。しかし、通常の授業をすべてオンラインでやる事はできませんので、学習方法

のひとつの形として受け止めていただきたいと思います。

今回の休業で特に心配だったのが、低学年を対象とした学校での居場所の確保についてですが、4～6年生を特別な事情が無い限り預からないという対応は、多少不安でしたが、上のお兄ちゃんお姉ちゃんが下の子の面倒を見てくれていたということもあり利用者数が少ない結果となりました。

〈議長：室井市長〉 それでは次に、学校再開等について協議してまいります。  
学校再開にあたっては、コロナウィルスの感染予防はもとより、子どもの健康管理や心のケアなどについても留意していく必要がありますが、どのような対応を行っていくのか事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉 「2 学校の再開について」説明

〈議長：室井市長〉 ただ今、事務局より説明がありました。  
まず、子供たちが学校における新たな日常をつくる取組みについて、ご意見ご感想があれば、ご発言をお願いいたします。

〈松本委員〉 熱っぽいときは学校に来ない、或いは学校で熱が出たら帰宅させるといったルールがありますが、具体的に体温が何度以上あればというような基準体温というのは決まっているのか。

〈事務局〉 一般的には37.5度という基準もありますが、子どもによって平熱が高いといった傾向があることや、個人によって基礎体温にも差がありますので、明確に何度といった設定はしておりません。保護者の方に普段から体温の傾向を見ていただき、普段よりも体温が高い場合には出席をさせないといったこととなります。発熱等で出席できない場合は、欠席扱いにはせず出席停止という対応にいたします。

〈議長：室井市長〉 現在、コロナだけではなく溶連菌性咽頭炎も発症しているらしく、4月19日までのデータでは224件がピークで、現在は20人～30人程度の感染者がでていいる。溶連菌性感染症により熱が高いというのもあったのか分ければ教えてください。

〈事務局〉 昨年状況をみますと、冬季になるとインフルエンザの流行なども出ていました。今年度はインフルエンザの報告が0件という状況であり、感染予防対策が講じたものなのかと考えています。発熱状況の資料は手元にございませんで、後で確認したいと思います。

〈議長：室井市長〉 市内においてもPCR検査については連日検査申込があつて、午前中に検査を受けると夕方には結果が分かるといった状況になっています。県では1日4,000件以上検査を実施している状況です。スクールバスは現在も運行しているという理解でよかったですか。

〈事務局〉 スクールバスは運行しております。行仁小学校では建替えに伴い体育の授業は旧学鳳高校までバスで移動をしておりますが、密にならないようにピストン輸送を行っていく予定です。

〈林委員〉 新型コロナの感染者は、夏は感染者数が減って冬になると増えるのではないかとされており、今後、第2派・第3派が来た場合の備えとして、マスクや消毒液などの備蓄などは考えているのか。

〈事務局〉 今のところ備蓄については具体的に考えておりませんが、今後の感染拡大等も視野に入れて計画的に進めていきたいと考えているところです。6月中に各学校

でマスクや消毒等をどれだけ使用するかの調査を実施する予定であり、必要数を確保できるように進めていきたいと思います。

〈議長：室井市長〉 現在、児童生徒数は約9,000人だとして、かなり多くの数量が必要になるので、マスクなどは自己対応が基本となるが、市全体としても備蓄等については考えていきたいと思う。

〈林委員〉 全て市で負担するのではなくて、各家庭においても備蓄するように働きかけてはどうか。

〈一ノ瀬委員〉 学校への来客や業者の方など、外部の方の入校は今後どのようなようになるのか。

〈事務局〉 マスク着用や手指の消毒などは徹底していただくようになると考えております。

〈議長：室井市長〉 マスクが無い場合は入校を拒否しているのか。

〈事務局〉 入校拒否までは厳密には行っていませんが、仮にマスクが無い場合には、キッチンペーパーで作成した簡易マスクや口にハンカチ等を当てて、ウィルスを持ち込まないように配慮してもらうことで対応しています。

〈松本委員〉 P T Aの方々などの入校など、今後どうするのか気になる。

〈林委員〉 会社などでは、検温の記録やマスクを徹底しているところが多いので、学校ではどうするのかなと思いました。

〈議長：室井市長〉 施設管理を実施する中では、責任者名や参加者名など来訪者の氏名や連絡先も全て記録させているところが多いようです。感染者が発生した場合に、一緒にいた方々を追跡できるようにしています。  
学校あるいは生徒のいる家庭などで感染者が発生した場合の休校などの対応についてはどうなりますか。

〈事務局〉 「感染者発生に伴う対応について」説明

〈議長：室井市長〉 ただ今、事務局より説明がありました。  
質問、ご意見等があれば、ご発言をお願いいたします。

〈林委員〉 感染者が発生した学校などでは、今後さらに休校とすることになるが、その場合に修行課程に不足が生じた場合はどのような対応となるのか。

〈事務局〉 今後、仮に感染者が発生して休業となった場合、拡大の状況によっては休業期間が長期になることも見込まれるので、そういった場合には、次年度への繰越なども視野に入れて対応していかなければならなかと考えております。

〈一ノ瀬委員〉 市内に感染拡大がみられるか、みられないかで対応を分けているが、拡大がみられるかどうかの基準などはあるのか。

〈事務局〉 どういう状況が感染が拡大している状況なのかといった、はっきりと何人以上といった基準は決めておりません。感染経路が明確という状況については、明確になっているからこそ、逆に言えば通常通りの授業が実施できると考えており、仮

に感染経路が不明確の場合には、例えば他の市町村のように全市一斉休業をとらなければならないといった事も想定される。

〈議長：室井市長〉 陽性となった方は、感染対策がとられた病院に入る事になるが、感染が広がらないように入院期間も一定程度設けなければならない、仮に1日5人ずつ感染者が増えた場合、病院では対応が出来なくなる見込みとなっている。そうなると、症状が軽い方は別のところで対応してもらうことになるかと思えます。

〈教育長〉 みなさんにご意見をいただきたいのが、児童生徒及び学校関係者に感染者が確認された場合はその学校を休校することになりますが、そうした場合、学校から感染者が出たことが分かかってしまい、誰が感染したのかを特定されてしまうリスクもあります。ピンポイントで休校した場合にはそのようなリスクがあり、特定されない方法としては、一斉休校にするといった方法がありますが、どういった方法がいいのかご意見をお聞かせいただければと思います。

〈議長：市長〉 参考までに県内の感染者が発生した場合、報道などでは個人や会社などから了解をもらって発表しているそうです。感染した場合に、本人は動転して判断できない場合もあるのかと思えますが、いずれ感染者だと分かってしまうので、公表して感染拡大を予防するといったケースが多いようです。

〈林委員〉 デマが流れるよりは、真実を伝えてもらった方がいいのかと思えます。

〈一ノ瀬委員〉 休校にするのは、感染者が発生した学校だけでいいと思います。様々な噂が出回るかと思えますが、学校内で感染者探しにならないように注意していくべきかと思えます。

〈松本委員〉 兄弟などで小学校と中学校に行っている場合などは、特定されやすいかもしれません。

〈秋月委員〉 長期的に感染症に対応していく必要もあるので、該当校だけ休校にするしかないのではないかと思います。感染してもしかたないというか、誰でも感染する可能性があることへの理解を広げていってほしい。

〈議長：室井市長〉 取り扱いについては、そういった状況の中なので、厳しい判断をせざるを得ないということになると思えます。

〈秋月委員〉 該当校だけの休校とした方が、保護者としては受入れ易いかと感じます。

〈議長：室井市長〉 それでは次に、「今後の取組について」協議してまいります。  
これまで、休校等により学習の遅れなどが懸念される場所ですが、夏休みを短縮して授業日数を確保するなどの対応に加え、行事等の見直しも必要となるものと考えますが、どのように取り組んでいくのか事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉 「3 今後の取組について」を説明

〈議長：市長〉 ただ今、事務局より説明がありました。  
ご意見ご感想があれば、ご発言をお願いいたします。

〈松本委員〉 行仁小は建替中でエアコンが設置されていないため、冷風機で対応していくということですが、保護者の方からも理解を得られるように対応して欲しいと思えます。

〈教育長〉 エアコンが設置されている学校においても換気が必要なので、窓を開けながら室温を冷やす効果はかなり低い状態になるかと思われますので、そういったことも説明しながら理解をして欲しいと考えております。

〈議長：室井市長〉 可能であれば二方向の窓を常時開けて換気をするよう指導が必要であり、エアコンは空気を循環しているだけなので換気が必要となります。  
国で感染症予防対策として、学校に上限500万円まで補助するものがあったかと思うが、この補助金の対応はどうするのか。

〈事務局〉 補助についての正式な通知は未だ届いておりませんが、学校に任せきりにするのではなく、教育委員会が消毒液やマスクの購入などの取りまとめを行うなど、使い道なども各校に示していきたいと考えております。

〈林委員〉 課外授業の再開はどのように考えているのか。国から基準とはは示されているのかどうか。

〈事務局〉 すべての課外授業などは9月以降に延期しているところではありますが、9月で実施できるのかも現時点では見通しが立たないといった状況にあります。修学旅行も9月に東京方面に行ける状況なのか。運動会も家族が密集して実施することになるので感染症の状況次第といったところです。

〈議長：室井市長〉 8月1日からは屋外では無制限ということになるが、間隔を2平方メートル取るとなると以前のように実施するのは難しくなるのかと感じます。市のイベントなどでも、当番校などの関係もあるので実施するか中止にするかの判断については頭を痛めているところにあります。中止の場合にも、何か別なかたちで記念に残せる方法は無いか考えているところです。

〈教育長〉 合唱コンクールなどは、すべて中止となっている。甲子園も中止になっているが、県の中体連や全国大会も中止になっている状況で、3年生のために何か大会をすべきかどうかといった問題がある。感染の危険があるので実施しないほうがいいのか、思い出として残すために何かの形で実施した方がいいのか皆様の考えをお聞かせいただければと思います。卒業アルバムの写真が無いといった問題も出てきていますが、その目的のために感染してしまっても仕方がないのでご意見をお聞きできればと思います。

〈議長：室井市長〉 感染者が出た場合には、おそらく責任を学校や教育委員会に求めてくるのが予測されます。学校などに責任を求めるような雰囲気広がってしまうと主催者は引き気味にならざるを得ない面がある。

〈松本委員〉 不要不急な外出を避けてと言われていますが、外出する方にとっては何かしら外出する理由がある訳であって、理由のレベルは様々である。3年生などにはやってあげさせたい気持ちはある。しかし、感染対策を優先すべきとの両方の意見があるので難しい。

〈林委員〉 公共施設でも主催者判断で大会はできるとなっている。自分達で対抗試合などを行う方法もあるのではないかとはいえますが、対抗試合などは出来そうな気がします。

〈議長：室井市長〉 テニスにおいては、協会から何日までは大会は実施しないようにと通知がきているようです。通知が出ていればそれに従えばいいが、それ以外は各自

の判断でどうしていいのかわからないというのが正直なところだと思う。

〈林委員〉 スポ少などで感染者がでたりした場合には、責任者が吊し上げにされてしまうのではないかと思います。そうなると何もできなくなってしまうので難しい。

〈一ノ瀬委員〉 やってあげたい気持ちはあるが、危険にさらしたくないという思いや責任問題といった事が絡んでくるかと思えます。例えば合唱などはビデオ映像などで、公表できる場があればいいのかなと思えます。運動は密着するものもあるので協議ごとに、或いは団体毎に個別に考えるしかないのかと思えます。3年生の思い出づくりに視点を置くのか、競技として勝ち上がることを重視するのかによっても違ってくるのかと思う。

〈秋月委員〉 柔道など接触するものは実施できないスポーツもあるので、気持ち的にはやらせてあげたいが競技ごとに考えていくしかないのかと思う。

〈議長：室井市長〉 相撲場は6月1日に利用を再開するそうです。

〈教育長〉 全日本剣道連盟からは一人稽古をしなさいといった指示がでていいる。競技によって感染リスクが違うので、出来る出来ないといった差が出てしまいます。

〈議長：室井市長〉 拘束するものではなくて、参加意思によって参加していただくもののかなと思えます。中体連といった大会については全体の責任を問われるものなので難しいかと思えます。参加したいという意志によるもので成果として記録を残してあげたいというのがあります。反論する意見もある。競技によって条件も一律ではないかと思えます。

〈議長：室井市長〉 大変、貴重なご意見、ありがとうございます。それでは、最後にまとめといたしまして、各委員会からご意見、感想などをいただきたいと思いますのでお願いいたします。

〈松本委員〉 今回、感染症に関しては未経験のことでストレスが多くかかっている。教職員も同様だと思う。市では感染者が出ていないのに休業など予防対策などを取らなくてはならない状態でもこれだけのストレスが生じるので、感染者が出た場合の対応を、今から冷静に皆で考えておかなければならないのかと感じました。

〈林委員〉 初めてこういった状況になり、正解がない状況にあると思えます。次の第2波、第3波が絶対にくるかと思うので、その時に今回の経験をどれだけ糧にできるかというのも大事になってくるかと思えます。最終的には、ワクチンなどの薬ができるまで解決方法は見えてこないのかもしれないが、教育活動や経済活動も続けていかなければならないので、予防対策をしながらの生活習慣は厳しくなっていくが、長期化していくなかでは、賛否はあるかと思えますが外に出ていくしかないのかと感じています。

〈秋月委員〉 長期休校で学校で学ぶということが必要に感じた子も多いと思う。財政的には厳しいかもしれないが、オンライン学習といったものを整備していかなければいけないのかと感じました。保護者の認識としては、保護者自身でオンライン環境を整備していかなければならないというのは無くて、整備してもらえると認識している保護者が多いので、今後考えていって欲しいと思う。

〈一ノ瀬委員〉 学校での授業体制など、今後進めていかなければならないというところで、グループ授業もできなくなってきて、どういうふう工夫して授業を行っていくの

かが重要だと感じています。原発事故の時に放射線の教育があったように、感染症教育というのも実施して、正しく感染症に対応できるように、子どもが育っていけるようになって欲しいと思います。現場の先生たちも様々な検討課題がある中で感染症教育まで行うのは大変ですが頑張っって局面を乗り越えて行って欲しいと思います。

〈議長：室井市長〉 いろんな考え方や手法を試行錯誤しながら感染症と戦っているの、我々は負けるわけにはいきませんし、こういう事もあるという社会だということを理解したうえで考えていきたい。専門家の方の話では、薬の開発等も進めており短時間で回復する傾向が分かってきています。ワクチン開発までは時間がかかるが様々な対応を進めながら、乗り越えられるようにしていければと思います。

〈教育長〉 今日が全校生が準備のために登校している日で、月曜日から通常通り登校してきます。心配なのが、通常の授業になった場合、これまで家庭でゲームをしたり自由に過ごしていた子が不登校になってしまうのではないのか心配しています。

それと、一時はマスクが手に入らなかったが現在は入手できるようになった。登校時に検温して来るように言っても、体温計が売り切れて無い状況で体温を計れない状況になっているので、各学校がそういった状況を理解していないと、体温を計ってこないで怒られても困る。

あとは、心の教育で、感染者は病人であり運が悪い方だという理解をしっかりと学校で徹底していかないと、悪者扱いされてしまうと、これから感染者が広がっていく中で酷い差別を受けてしまうので、道徳教育がすごく必要だと思います。

この後、また臨時休業になった場合の対策を考えておかなければならない。家庭学習をしっかりとやらせて、家庭学習も単位化していくしかないのかと考えている。オンラインでの授業も含めて、休業中の一日の日程をきっちりと立てて、それを単位としていく方法も研究していかねばならないと、休業分を補えなくなるので準備は必要かと考えています。

最後に、今回、図書館でのドライブスルー方式による貸出など、窮屈な状況でも実施できるものがあると感じた。このような状況だからこそ、知恵を出していけば工夫して進めることは出来るので、知恵を出せばおもしろい時期だと発想を変えてもらって、頑張っっていかなければならない時期だと考えています。

〈議長：室井市長〉 まとめていただきました。以上で、本日の総合教育会議を終了させていただきます。

○閉 会